

「三重県文化振興計画（仮称）」素案に対する意見公募手続（パブリックコメント）の意見及び回答について

- 1 意見公募期間：令和5年12月14日（木）から令和6年1月12日（金）まで（30日間）
- 2 意見数：7件（2名）
- 3 意見の概要及び意見に対する回答：下表のとおり

項目別意見数

項目	件数
第4章 施策の展開 に関する意見	5件
全般 に関する意見	2件
合計	7件

対応状況別意見数

対応区分	件数
① 反映する：最終案に意見や提案内容を反映させていただくもの。	2件
② 反映済：意見や提案内容が既に反映されているもの。	0件
③ 参考にする：最終案や今後の取組に意見や提案内容を参考にさせていただくもの。	4件
④ 反映は難しい：反映または参考にさせていただくことが難しいもの。（県の考え方や、施策の取組方向等と異なるもの。事業主体が県以外のもの。法令などで規定されており、県として実施できないもの。）	1件
⑤ その他：①～④に該当しないもの。	0件
合計	7件

対応状況

番号	素案での該当箇所	意見の内容	対応区分	意見に対する考え方
1	第4章 施策の展開 基本施策（5）文化活動への支援	・新しい支援のあり方について具体的言及がない。支援そのものをミッションとするような組織が必要ではないか。	①	「基本施策（5）文化活動への支援」において、アーツカウンシルの必要性など、文化団体等の活動への新たな支援のあり方を検討する旨を記載いたしました。いただいたご意見を参考に、文化団体等の活動が継続し、発展していくよう取組を進めてまいります。
2	第4章 施策の展開 基本施策（5）文化活動への支援	・育成支援策としては多くの都道府県でアーツカウンシルの取組が進んでおり既に多くの実践事例がある。単なる補助金等の支援策ではなく、文化団体や活動の育成、企画、他分野を含めたコーディネート、そのための情報・ネットワークをストックし活用している。従前の支援・育成のし方ではなく、今後三重県の資源を生かし育成していくための仕組みや機能を県として始動する必要があるのではないか。文化振興計画上では育成の支援だけでなく各施策に総合的に関与する機能である。既に全国的に最先端取組でない現状。観光と絡めた文化施策においても求められる機能であり、明記して早速取り組む必要があると考えるがどうか。	①	「基本施策（5）文化活動への支援」において、アーツカウンシルの必要性など、文化団体等の活動への新たな支援のあり方を検討する旨を記載いたしました。いただいたご意見を参考に、文化団体等の活動が継続し、発展していくよう取組を進めてまいります。
3	第4章 施策の展開 基本施策（6）文化活動への支援	・文化団体のネットワークづくりは今後の取組において何のために必要なのか。これまでの取組で何ができたのかできなかったのかの分析もなく、過去の方針をそのままとめなおしている印象。県民文化祭の連絡調整がメインであれば特筆の必要はないし、そもそも県民文化祭のあり方見直しや文化団体の育成見直しなどにもふれられているわけではない。長年の取組結果や反省、現状を踏まえて、新たなステージとして、これまでの取組とはやり方を変える、あるいは特化した方向で再構築する必要はないのでしょうか。当然、財源の計画と使い方（実施計画）はセットであるので、バラマキではない育成の具体策、三重の文化の現実を踏まえた「具体的な」計画を示していただきたい。	③	文化団体等のネットワークづくりに関しては、これまでの三重県文化審議会でも、コロナ禍において文化団体同士の連携は十分ではなかった、とのご意見をいただいております。「基本施策（5）文化活動への支援」において実施する予定の、県内における文化団体等の実態や、課題の把握、優良事例等に関する調査研究を踏まえ、文化団体等の活動への新たな支援のあり方を検討していきます。いただいたご意見を参考に、効果的な施策を研究・検討しながら計画を推進してまいります。

番号	素案での 該当箇所	意見の内容	対応 区分	意見に対する考え方
4	第4章 施策の展開 基本施策(11)文化と 観光等との連携	・数年前に実施された「伊勢市クリエイターズ・ワーケーション」事業は伊勢市の観光のポテンシャルを活かしたレジデンス事業として高く評価されている。この県域版ができれば、文化と観光の連携とならないだろうか。まずは“発信者”を観光地へ誘致するという発想。	③	いただいたご意見を参考に、効果的な施策を研究・検討しながら計画を推進してまいります。
5	第4章 施策の展開 基本施策(11)文化と 観光等との連携	・文化を生かした活性化や観光に関しては「食文化」の記載があるが、そもそも三重の食文化の資料情報がまとめられ、総合行政として文化担当部署が掌握しているのでしょうか。滋賀県等他県では食文化を重視し調査研究、資料収集されている。振興すべき元の情報がまとめて得られる部署や施設を位置づけて維持継続していかないと、県民の文化に対する関心理解を図る事や、こどもの文化活動や教育機関の活動に活用できないことになる。	③	食文化に関しては、三重県総合博物館(MieMu)が文化庁より「食文化ミュージアム」としての認定を受けており、三重の食文化の調査研究や魅力発信に取り組んでいるところです。このほか、雇用経済部の「三重の食結び 三重の食ポータルサイト」において情報等を取りまとめています。 いただいたご意見を参考に、子どもたちや県民の皆さんに三重の食文化の魅力や情報を広く知ってもらえるよう、取り組んでまいります。
6	全般	・網羅的で、それぞれ書いてあることは美しい表現でごもっともと思うが具体的でないためなるほどと納得できない、しかもそれで数値目標が示されているのは中抜きの不可解です。どこの部署が(あるいは県民等が)どの期間に何を実施して何を達成目標とするのかというのがあって初めて実施計画といえると思われる。P(プラン)が何か不明ではDoもできないし県民がチェックもできないのでD→C→Aは不可能と思われるがいかかがか。 もし、この計画を進めるための実行計画、アクションプラン等を策定する予定(その場合更に実施期間が短くなる)があればその旨示すべきですが、そうでなければ当該計画に具体的取組を記載いただきたい。例えばWeb検索で見た静岡県文化振興計画(2022-2025)は何をするのかわかる「説明」がされています。 条例は総合計画よりも上位の規定。県の総合計画とサイクルをそろえる方が効果的と思うが、今具体的な実施計画を示せない理由にはならないし「育成」の施策は中長期の計画や実践を要する。又文化施策は総合行政であり例えば食文化は文化担当部局以外での計画も必要であり県全体の具体的計画を示されたい。また重点施策と位置付けたものは尚更具体策が必要と考えます。	③	本計画は、令和6年度から令和8年度までの3年間の取組について、施策の方向性とその主な内容を記述しています。各年度のより具体的な事業については、毎年度の予算の編成に向けた議論の中で検討するとともに、「評価・推進会議(仮称)」の中で確認し、効果検証することで、計画を推進してまいります。
7	全般	・計画を進めるには予算が必要で、財源計画も記載されるべきと考えます。財政厳しい中であっても、今、条例まで策定して文化振興策を推進しようとするのであれば尚更のこと。基金を積み立てる計画を示した都道府県の事例もある。三重県はどう計画しているか示していただきたい。	④	予算及びその財源については、全体の予算編成過程の中で具体的に議論していくこととなりますが、重点施策を中心に、計画の実施に必要な予算の確保に努めてまいります。